



@Norihito Yamauchi



第31回全国街路事業コンクール

国土交通大臣賞

松山広域都市計画道路 花園町線整備事業

松山市

事業概要

本事業は、松山市の交通拠点である「伊予鉄道松山市駅」から松山城がある「城山公園」を結ぶ花園町線において、無電柱化と道路空間再配分を行ったものである。再配分は、総幅員はそのままで、自転車道を新設し、歩行空間を拡大した。これにより、歩行者の安全通行と賑わい空間の創出を図り、安全性・快適性の向上や放置自転車対策にも効果を発揮した。

表彰理由

副道を含めて片側3車線あった道路を片側1車線に減らし、無電柱化とともに歩道の拡幅と自転車道を整備し、街路空間を再構築した事業であり、交通拠点である松山市駅と城山公園を結ぶシンボルロードに相応しい街路となっている。歩行空間には自然石舗装やウッドデッキを用い、植栽も丁寧かつ美しく整備されており、正岡子規をはじめとした地域の歴史的文脈も読み込んだ街路づくりがなされている。

自転車道、駐輪スペースも設けられたことで、歩行者だけでなく自転車利用者にとっても安全で快適な空間となった。松山市駅から眺める景色も好評を得た。松山市は観光都市として経験豊富な先進都市であるが、他都市にとっても参考となる好事例として非常に高く評価された。

事業延長：250m
事業費：約12.5億円

幅員：40m
事業期間：平成23年度～平成29年度